



平成24年度 市政執行方針

2月28日(火)に開会した第1回市議会定例会の初日、田岡克介市長は平成24年度市政執行方針を述べ、市民の皆さんと市議会の理解と協力を求めました。新年度の市政に対する基本方針(抜粋)と主な施策について紹介します。

財政

私は新年度の予算編成にあたり、先人、諸先輩が現世代に遺していた素晴らしい石狩市をかみしめ、改めて、いま成すべきことは何か、未来への投資を戦略的に進めることの大切さを、自らに問いかけてみました。次代に引き継いでほならない財政的アキレス腱痛の解消と、石狩湾新港地域を基軸とした将来の安定した産業基盤の確立に向けた積極的投資の必要性を強く認識したところです。

石狩市土地開発公社

平成20年3月に保有地の処分および欠損金の解消を図り、平成39年度をめどに同公社を解散するスキームの「石狩市土地開発公社経営健全化計画」を策定しています。この計画に沿い平成24・25年度において、最大の懸念要因となっている志美地区の土地を購入することとしました。

花川東土地区画整理事業

市の東側玄関口として市街地整備が進められてきましたが、経済不況等の影響により保留地の売却が進みませんでした。小宅地の完売へは道が開かれつつあるものの、大宅地が大きな重荷となっており、

組合事業の完遂に多大な影響を及ぼしています。自力での解決は極めて困難な状況にあると判断し、後年次における市営住宅の移転先として購入することとしました。

水道事業会計の健全化

少子高齢化の進展などにより料金収入が減少傾向に転じるなど、水道事業経営は厳しい状況にあります。加えて、間近に迫った当別ダムの供用開始による恒久水源への切り替えや、老朽化が進む施設の計画的な更新を実施していくためには、もはや料金の改定は避けては通れません。現在、料金改定について「石狩市水道事業運営委員会」に諮問し、答申後において、所要の手続きを経て議会に提案したいと考えています。厚田区の特定環境保全公共下水道事業については、地域からの要請もあり、個別排水処理施設整備事業とともに公共下水道使用料体系への統一を検討して、問題の解決を図ります。

国民健康保険事業特別会計

近年の急速な高齢化の進行や医療技術の進歩等により医療費が増大する一方、医療費の多くを占める高齢者や低所得者の加入

が多いなど構造的な問題を抱えており、加えて現下の厳しい雇用・経済情勢を背景に保険税収入の確保が一段と厳しさを増しています。市では国保会計の健全化を図るため、一般会計からの法定外繰り入れを行い、累積赤字額を7.5億円まで改善してきましたが、引き続き累積赤字の解消に向けた取り組みが必要です。

これらの問題への対応が遅れると、市政のマイナスイメージをさらに拡大することとなり、ひいては市民生活に不安をもたらす、市民サービスの低下を招くこととなります。

幸い石狩市は、これらの課題を克服し発展する力を有しています。将来への投資を怠ることなく取り進めるならば、道内有数の都市力を持ったまちへと発展するものと確信しています。そのためリーダーシップを発揮し、メリハリの利いた市政の運営を具体的にアクションプランをもって実行します。

**石狩湾新港地域を基軸とした
将来の安定した産業基盤の確立**

すでに始動した大規模郊外型データセンターは、環境と情報の新分野を結びつけ、北海道の地域価値も高めています。



LNG（液化天然ガス）は新たな時代を支える基幹エネルギーとして、環境負荷の低減に貢献するとともに、気化の過程で生じる冷熱は、地産地消型のエネルギーとして期待されています。洋上風力発電は、すでに国内でも適地として評価され、実現への道が開かれつつあると認識しています。データセンターへの利活用の可能性が膨らんでいる雪氷・冷熱エネルギーや、地域のバイオマス資源を活用したエネルギー開発など、多様なエネルギーソースが賦存しています。さらに北海道の「北海道バックアップ拠点構

想」における食料備蓄基地や、港湾物流機能等が重要な役割を担うとして期待されています。石狩湾新港地域を、これらエネルギーのベストミックスによるスマートエネルギーエリアとして展望し、本道の先導的プロジェクトを育てます。

また、姉妹都市ロシア・ウニノ市に隣接する港湾が極東初の港湾経済特区に指定され、すでに国内大手のシンクタンクの開発提案が採択されています。背後のシベリアの潜在的資源は、日本にとっても高い価値を有するものであり、将来の日本海貿易の核となりうるものです。培った姉妹都市交流を糧に、日本海側拠点港・重点港湾としての役割を担うべく、長期的かつ戦略的に挑戦します。

防災対策

東日本大震災を教訓に、子どもたちが1日の大半を過ごす学校の耐震化を二層急がなくてはなりません。さらに、持続可能な地域づくりの観点から、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりを進めます。石狩市の防災に関する基本的な計画である「石狩市地域防災計画」と、「石狩市水防計画」を改訂するとともに、各地区の特性に沿った「地区防災計画」の策定や

高齢者・障がい者などの災害時要援護者への対策を市民の皆さんと議論していきます。

健康都市の推進

「石狩市健康づくり計画」に基づく各種事業の取り組みが、多くの市民、団体、町内会、高齢者クラブなどの理解と協働の中で拡大をしていることは、市民力の高まりとしても評価すべきことです。「スポーツ・健康都市宣言のまち」としてスポーツを通じた健康づくりに努め、これと併せWHO（世界保健機構）の憲章を尊重した健康都市を目指します。

